



平成 30 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ホ ー プ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 C E O 時 津 孝 康
(コード番号：6195 東証マザーズ・福証 Q-Board)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 大 島 研 介
(TEL. 092-716-1404)

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 8 月 6 日開催の取締役会において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 8 月 9 日に公表した当期の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 6 月期通期業績予想の修正（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,338	△176	△167	△124	△89.13
今回発表予想 (B)	2,269	△121	△114	△128	△92.14
増減額 (B-A)	△69	54	53	△4	
増減率 (%)	△3.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 6 月期)	1,774	23	34	17	12.89

2. 業績予想修正の理由

売上高におきましては、概ね計画水準で推移いたしましたが、主に BPO 支援サービスが伸び悩んだ結果、2,269 百万円と前回予想 2,338 百万円に比べ 69 百万円下回る見込みであります。

利益面におきましては、人員純増数が計画から若干少なかったことによる人件費の下振れ、採用活動の経費が縮減できたことによる採用教育費の抑制、その他の一般管理費の削減等により、営業利益は△121 百万円と前回予想△176 百万円に比べ 54 百万円、経常利益は△114 百万円と前回予想△167 百万円に比べ 53 百万円上回る見込みであります。当期純利益は 3. の「特別損失の計上について」の理由に加え、主に繰越欠損金に対する繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、△128 百万円と前回予想△124 百万円に比べ 4 百万円下回る見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想数値は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報を基に作成しておりますので、実際の業績については、今後の様々な要因により変動する可能性がございます。

3. 特別損失の計上について

当社は、小規模自治体における広告事業の活性化を図るため、自治体と広告主を直接つなぐエリア限定の自治体広告マーケットプレイス「LAMP」を開発し運営してまいりましたが、当初想定した収益の獲得を実現できないまま今日に至っております。今後も同サービスの改善を行い継続的に運営していくものの、現時点において正確な収支計画を作成することが困難であるため、資産性の評価を厳格に行い「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき平成 30 年 6 月期において減損損失を計上することといたしました。本件に係る減損損失の金額は 7 百万円であります。

以 上